

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 Tel. 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

不祥事防止研修を実施して

校長 吉田 直美

「ひばり 6月号」でお知らせいたしました通り、6月1日（水）に、職員対象の不祥事防止研修を実施しました。市川市教育委員会義務教育課学校安全安心対策担当室の職員2名と千葉県教育委員会葛南教育事務所管理指導主事1名の計3名が講師として来校してくださいました。今回のテーマは「不適切な指導」。威嚇、人格を否定する言葉の投げかけ、集中的に人前で批判し続ける等、大人社会でいうと、いわゆる「パワハラ」でしょうか。動画視聴も含めて研修しました。

研修後の質疑応答で、数名の職員が研修の感想を述べるとともに、質問をしました。紹介します。

- ①「体育の器械運動の授業で、あと少しで技ができそうなときや、コツやタイミングをつかませたいときに、教師が児童の身体に接触して補助をする事が、不適切な指導としてとらえられて、懲戒処分の対象となることはありますか。」
- ②「児童に、『よくやったね!』『ありがとう!』とっても助かったよ』という称賛の言葉と同時に、肩にポンと触れて気持ちを表現することがありますが、やはり、身体の接触という点では控えたほうがよいのでしょうか」
- ③「特に低学年の担任だと、児童から手をつないできたり、抱きついてきたりすることが日常的にあります。その場合はどのようにとらえたらよいのでしょうか。」

私自身、②も③も経験がありますし、今も「ありがとう!」のお礼と同時に、児童の頭をなでることがあります。低学年には、安心感が欲しくて、甘えたくて、手をつないでくる子どもも実際にいます。担任がその子の気持ちに寄り添うことをせず、「手を繋いでではだめよ」と言って手を離すということも、教育的ではない気がするのです。逆に、児童が不快感を感じるようであれば、避けるべき行動と認識すべきなのでしょう。

子どもたちと担任の間で最も大切なのは「信頼関係」です。また、子ども一人一人、感じ方や捉え方も違います。しっかりと両者の認識を共有して、子どもにとっても担任にとっても、喜びや幸せを感じることでできる稲越小学校を常に目指してまいります。

ご意見等ございましたら、校長でも担任でもかまいませんので、いつでもおっしゃっていただけるとありがたいです。

